

【注意】 答えはすべて、解答用紙の定められたところに記入しなさい。
本文は、問題作成上、表記を変えたり省略したりしたところがあります。

日 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

イギリス人の男性と結婚して、パリに住み、出産して、子育てをしたアメリカ人女性がいます。彼女(パメラ)は、フランス語会話がにがてで、パリに住む外国人の悲しみを味わい、子育てがフランス人のようにうまくいかず、悩みます。そして、何年かして一時帰国し、故郷のニューヨークで、偶然フランス人の小児科の先生(英語を話す)に出会い、はじめてフランスの子育てのすばらしさに、遅まきながら、目が覚めるのです。

『フランスの子どもは夜泣きをしない』というルポルタージュは、いわば自分のAシツパイ談がないまぜになっています。

さて、そのフランス人の小児科の先生はこう言います。

「最初にアドバイスするのは、赤ちゃんが産まれたら、夜にすぐにあやすのはやめてください、ということ。赤ちゃんにすぐに応じずに、赤ちゃんが自力で落ちつくチャンスを与えてやる。産まれたばかりのときから、そうするのです」

すぐあやさずにちよつと待つて、赤ちゃんを観察するのです。

つまり、「赤ちゃんを待たせることに、意味がある」のです。

「待たせてから、^①よろこびを与える」

赤ちゃんが泣いたとたんに抱き上げてあやしては、観察していることにはなりません。

ちよつと待つ。これがきわめて大切なのです。

そしてぐずる原因は、空腹だからか、オムツ替えをしてほしいからか、お母さんの肌が恋しいからか、からだ熱くて寝苦しいからか、どこかに痛みがあるからか、等々、それを見極めるのです。

ちよつと待つあいだに、赤ちゃんが泣き止む場合がある。ここがキーポイント。

赤ちゃんが泣き止んで、眠りに入ったり、「待つ忍耐」を覚え、「ひとり遊び」をはじめることだっているのだということです。

これは、ぼくの考えでは、^②「孤独」の味を覚えさせてもいるのです。

待つことは、人生において大事なことです。

「待つのが上手な子は、とりわけ集中力と論理的思考に秀でていた」と、本のなかで、心理学者の研究B「セイカが、紹介されています。

フランスの子が「上手に待つ」ことに、パメラは驚き、その秘密を赤ちゃんの育て方に見出したのです。

フランスは、島国の日本とちがつてヨーロッパ大陸に属していますから、大陸的な気の長さが育つのか、とぼくは思っていたのですが、生まれた時からの育児法に秘密があったのです。驚きです。

乳飲み子の時から「忍耐と気の長さ」を教え、ひとり遊びから「孤独の味」を教える育児法は、アメリカ人女性パメラばかりではなく、今では多くの日本人女性をも驚かせています。

さらに、「赤ちゃんを生まれたばかりの時から待たせる」というフランス式の育児法には、「孤独の味」を味わわせ、「忍耐」を覚えさせるほかに、今ひとつ、「だじな睡眠時間のC「カクホ」がからんでいるのです。

つまり、「泣いてもすぐにはあやさない」ことが、赤ちゃんの睡眠時間にも大きく影響するのです。夜更けに赤ちゃんが泣いてくずくずしても、お母さんがすぐに反応しないと、泣き止んで、上手に眠るようになります。

「すぐに反応する親の子どもは、夜中に何度も起きて、親を困らせます」——「フランスの子どもは夜泣きをしない」より——

赤ちゃんが、眠っているあいだによく動いたり、D「ザツオン」を発したりするのは、まったく正常な行為ですから、抱き起こしたりすると、目をさましてしまいます。それに、赤ちゃんには「睡眠のサイクル」があり、途中に起こされては迷惑なのです。

赤ちゃんの、睡眠のサイクルは二時間。このサイクルをつなげる学習をしているうちは、赤ちゃんが泣くのはふつうです。泣くたびに、おなかがすいたか、苦しいのかと勝手に判断して、急いであやしてしまうと、「睡眠サイクルを自力でつなげる学習」をしているのが、邪魔されてしまいます。

赤ちゃんにとって必要なのは、サイクルが終わるころにあやしてもらい、眠りに戻るのを手伝ってもらうことです。

「ちよつと待つ」は、眠りのつなげ方を「教える」ことにもなっているのです。

フランスでは、③「寝ける」といわず「教える」といいます。

二、三歳の子が、お母さんの電話中にぐずったりした場合は、お母さんはかならず「待ちなさい」と言って「待つこと」を教えます。アメリカの女性ジャーナリストが、自分の子と違うことに気づいて、悔やんだ点でした。

E「ヨダン」になりますが、フランスにかぎらずヨーロッパでは、列車が遅れることがあっても、みんな黙って待ちます。駅の放送では、遅れることを知らせるだけです。

④「列車が遅れて、」「迷惑をおかけして、まことに申し訳ありません」などは、「けつして言いません。」と考えてみれば、迷惑をこうむったのは、鉄道会社のほうですよ。ああいう放送はしないほうがいいのです。

(小島 俊明)『ひとりで、考える——哲学する習慣を』による

問一 —— ①「よろこびを与える」とは、ここではどういうことですか。

問二 —— ②『孤独』の味「とはどのようなものですか。

問三 —— ③「寝ける」といわず「教える」といいますが、日本で普段使われる「寝ける」という言葉と比べて、この文章にある「教える」にはどんな特徴があると考えられますか。

問四 —— ④「列車が遅れて、」「迷惑をおかけして、まことに申し訳ありません」などとは、「けつして言いません」とありますが、その理由を説明しなさい。

問五 —— A～Eのカタカナを漢字に直しなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

開け放しにしておいた仕事部屋のドアの前に、見知らぬ男の子が二人、中を覗き込むようにして立っている。娘の部屋で先程から、だいふ大勢の友達がいよいよがやがややっていたのは知っていたが、その中の二人だろう。たぶん部屋での遊びに飽きて、家の中を偵察に出てきたに違いない。ぼくが曖昧にニツと笑うと、待つてましたとばかりに向こうもニツと笑って、笑ったついでに半歩部屋の中へ進んで、

「何してるの」ときた。

「絵を描いているんだ」とぼく。

「何で絵描いてるの」と小さい方。

「仕事だもん」とぼく。すると大きいほうが、

「あ、ぼく知ってるよ。Mちゃん（娘のこと）のおとうさん、絵を描く人だよ」と何故かぼくに言った。

「そう、知ってるのか。ぼくは絵を描くんだよ」とぼく。

「ぼく、知ってる」と大きい方が再び言った。

オレも変なこと言うもんだなと思いつつながら、ぼくは子供たちをなるべく無視して絵を描きつづけた。二人はしばらく黙ってぼくを見ていた。

割合と黙のいい子らしく、大人の仕事というものを案外理解している風で、それ以上やたらに話しかけたりはしない。むしろ邪魔をしないように心がけてさえいるように見える。健気なもんだとぼくは思った。思いながら描きつづけていた。するとどちらかが、フツツと溜め息を漏らすのが聞こえた。黙っているのが少し苦痛なようだ。また何か話しかけるのかな、とぼくが思っていると、たぶん溜め息をした方が予想通り声を出した。でもそれは、ぼくに話しかけたのではなかった。

「赤を塗った」

「今度は茶色を塗る」

「猫の目を描いた」

という具合に、ぼくの作業をいちいち口にした。これはまさに解説、いや実況放送だ。こちらとしては、これはしんどい。

「猫の目をまた塗った」

修正の筆まで実況放送である。その辛さに、もうひとつの辛さがくわわった。もう一人の方が、今度はぼくの部屋の中を見廻して、壁にかけてある絵や、脇に並べてある描きかけの絵などを見ながら、

「船なんかも描くんですね」とか、

「白い鳥が多いんですね」

などとやり始めた。揚句の果ては、

「うまいんですね」

などとお世辞になった。このごろのガキはなんてことを言うんだ、まったくあせるなあと、こちらは半ばあせって、半ば呆れて、さりとて心の裡でも覗かせてしまったら、次に何を言われるか判ったものではないので、懸命に無視を装った。そして装いつつ、あることを思い出していた。

その時のぼくは、たぶん目の前の二人ほどの歳であっただろう。ぼくたちは時々、河へ遊びに行くために電車に乗った。

電車に乗るために河へ行つたと言つてもいい。なにしろ時々一〇円を親から貰つて電車に乗つた。わずか五円で小人(ぼくたちはこれをコピトと呼んでいた。そしていつも気にしていた)が一区間乗れた時代、電車に乗ることはぼくたちの豪華なレジャーであつて、月に一度ほど、そんなことが許された。

ぼくたちは電車に乗り込むと、運転手の脇に我れ先に陣取つた。その当時の電車の運転席は、背板一枚で仕切られていて、金属の棒が一本ずつ両脇に渡してあるだけのもので、その棒に肘をかければ、運転手はすぐそこにいた。そして運転手と同じ視野で、ぼくたちは進行状況を見てとれた。今の電車はたぶん、かなり高度なものになって、そうとうに複雑な計器などがあるのだろうが、その当時の電車は、電車そのものがそう単純な構造をしていたとも思えないが、その計器や運転装置に関しては、だいぶシンプルなものに見えた。わずか二つほどのメーターと、時々点滅するランプが一つ、そして罐切りの親分みたいなレバーと、足元にペダルがひとつあるばかり。そして運転手のすることといったら、その罐切りを半分廻して走りはじめると、しばらくしてもう半分廻し、あるところまで来るとそいつを全部もどす、そして時々、踏切りが見えてくるあたりで脇のひもを引き、警笛を鳴らす、そんな程度でいとも簡単、ぼくたちでもすぐ出来そうな気がした。

だからぼくたちは金属の棒の上に架空のレバーを握り、運転手の真似をした。運転手の両脇に悪ガキが五人ずつぐらゐ並んで、あたかも見習い運転手みたいなことをやっていたわけだ。その一〇人ほどの、いや当の運転手を入れて一人ほどの動作があつという間に揃つてしまうほど、電車の運転というやつは単純なものであつた。いや、少なくともぼくたちにはそう思えた。だから子供でもすぐにその真似っこ遊びには飽きてしまつて、次には運転手のいわゆる口頭確認というやつを真似しはじめた。

たとえば駅の構内に入る時、「構内注意」と言う。あるいはカーブしている線路を行く時は「低速進行」、そして巡行しはじめるときは「ハヤ速進行」(ぼくの耳にはそう聴こえたが、そのハヤが「早」あるいは「速」なのか、もしくは別の「ハヤ」なのか、あるいははまつたたくの聴き間違いなのかはつきりとは判らないが)と言う。それを運転手が口にするたび、一〇人が揃つてリピートした。「場内注意」「ジヨーナイ チューイ」。「低速進行」「テーソク シンコウ」。そして「テーソク シンコウ」はだんだん「テーソク チンコウ」とくずれて、大合唱になつた。

今から考えれば、ヤレヤレである。そのヤレヤレが月に一度の楽しみで、それも往復たつぷりととなれば、中には運悪く、二度三度とその被害に遇つた運転手がいたはずなのに、ぼくたちは一度として運転手から小言を言われた憶えがない。これはずつと後になって聞いたことなのだが、運転手は運転中、乗客に話しかけてはいけなし、話しかけられても答えてはいけないという服務規定があるのだそうだ。それならば、^②なおさら罪である。

そしていま思うのは、運転手の気持ちである。規則正しい運転操作も、口頭確認も、はたまた沈黙も、すべて服務規定である。その罪深さを慮れば、いまガキに何を言われようとも、ぼくは黙して罰を受けるのが妥当というものだろう。

「女の子みたいな絵が好きなんですわね」

「ガンダムみたいなのは描かないんですか」

「ぼくはアニメが好きです」

ガキはいつの間にか机の端に肘をついて、勝手気ままに喋りつづけている。ぼくは、ただひたすら筆を動かしつつづけている。ひたすらの度が過ぎて、^③猫の目を二回も塗ってしまった。片方が目敏くそれを見つけて、

「猫の目、また塗つた」

と言つた。ぼくとしては、ただ我慢しなくてはならない。そして同時に、運転手さんに伝えておかなくてはならない。

そう、ほんとうに悪気はないんだ。ただぼくたちは電車に乗ることがとても嬉しかったから、ちよつとはしゃいでみたわけ、それにつられてあなたがニッコリとぼくたちに微笑みかけ、「おいおまえたち、電車が好きか」などと声をかけてくれて、「よし、それじゃいつちよスピードアップとゆくか」などと言ってくれたら、さぞ素敵だらうな思っていただけなんだ。ただ仲よしになれたらと思っただけなんだ。ほんとうに、悪気なんてこれっぽっちもなかったんだ。ほんとうに。

悪気はなかった。悪気なんてないはずだ。そう、机に肘をかけながら、いつの間にかぼくのスケッチブックに悪戯書きを始めているこのガキにも、悪気なんてないんだ。ないに決まっている。そのところは「一応理解しておくとしても、幸いなことにぼくには服務規定というやつがないから、

「こら、いいかげんにしろ。あっちへいけ」

で片付けた。そう、これだって、^④悪気はないんだ。

(五味 太郎『ときどきの少年』による)

注 背板……座席の、背中が当たる部分に取り付けられた板。

巡行……直進する線路を進むこと。順行。

服務規定……仕事を行う上で守らなければならない決まり。

ガンダム……日本のロボットアニメ「機動戦士ガンダム」のこと。またそれに登場するロボットの名前。

問一 —— ①「何故かぼくに言った」とありますが、「何故か」と書かれている理由を説明しなさい。

問二 —— ②「なおさら罪である」とは、どんな点についてそう言っているのか、説明しなさい。

問三 —— ③「猫の目を三回も塗ってしまった」とありますが、ここからどんな様子が分かりますか。

問四 —— ④「悪気はないんだ」には筆者のどんな気持ちが込められていますか。

㊦ 次の詩を読んで、下の問いに答えなさい。

体育

貞久 秀紀

ひとの世
には

「ころをこめた体
があるように
体

をこめたころも

ひとの世にはあるかもしれない
と

あるきながら
考えている

あるきながら考えていると
考えながらあるいてもいた

昼の
垣根がある

むこうからひとがあるいてくる
すれちがいながら

垣根ごしに会釈をかわし
それきりで

過ぎ
ふたたび会うこともなかった
けれど

会釈をするとき

ころ
には

体がこめられた
そんなふう

かろやかにすれちがうのだった

問一 「ころをこめた体」とは、どういうことですか。

問二 「あるきながら考えていると／考えながらあるいてもいた」とは、どういうことを言っているのですか。

問三 「会釈をかわし」とありますが、この「会釈」はどのようなものだったのですか。

☰		
問 三	問 二	問 一

☰			
問 四	問 三	問 二	問 一

☰				
問 五	問 四	問 三	問 二	問 一
A				
B				
C				
D				
E				

評点

解
答
用
紙

令3
—
中
国

受験番号
氏名